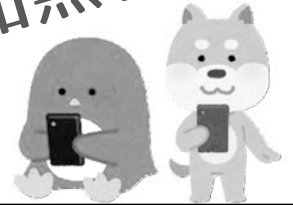




【主催】MXモバイリング 【協力】役場地域づくり推進課

隔週開催！スマホ教室

参加無料



スマホアプリを使った、生活に便利な仕組みが学べる教室です！お持ちのスマホをもっと便利に活用しましょう！

日時・場所		教室内容
9月4日	11時00分～12時00分 役場 防災会議室	マイナポータルを活用しよう
	13時00分～14時00分 山上地域振興センター	地方公共団体が提供するオンラインサービスの 利用方法
	14時30分～15時30分 山上地域振興センター	相談会
9月17日	11時00分～12時00分 文化センター 第1・2研修室	全国版救急受信アプリ（Q助）で病気やけがの 緊急度を判定しよう
	13時00分～14時00分 阿毘縁地域振興センター	地方公共団体が提供するオンラインサービスの 利用方法
	14時30分～15時30分 阿毘縁地域振興センター	相談会

注意事項

- ・定員は各回8名までとなっております。（先着順）
- ・1つの教室だけに参加していただくこともできます。自身にあった教室に申し込み下さい。
- ・ご自分のスマートフォンを使っていただきますので、参加の場合はお持ちのスマートフォンをご持参いただくをお願いします。
- ・9月4日11時の回は、ご自身のマイナンバーカードと受け取りの際に設定した暗証番号が分かるよう併せてご持参下さい。

申込方法

地域づくり推進課までご連絡下さい。

TEL：0859-82-1115

※参加をご希望の方は開催日時前日までにお申し込み下さい。



交流支援員 ノミン

月刊 ゴヨゴヨ

皆さん こんにちは！

モンゴルのゾーンモド市の出身で交流支援員のノミンです。

今回の「月刊ゴヨゴヨ」のコーナーには、モンゴルの子どもたちは夏休みをどのように過ごすのかについてお伝えします。

モンゴルの夏休みは6月上旬から8月終わりまで約3か月間あります。この長い休みを子どもたちがいろいろな形で過ごしていますが、一番楽しみにしているのは草原でのサマーキャンプです。モンゴルが社会主義国家だった頃は学校で優秀な成績をとった子どもだけが選ばれて行っていましたが、今はだれでも参加できるようになりました。いろいろな地域から来た子どもたちがウランバートル市からバスで移動して、サマーキャンプ場に行きます。大自然の中で2週間ぐらい共同生活をしながら友達を作り、田舎の暮らしを知る素晴らしい体験ができます。子どもたちにとって、サマーキャンプは良い思い出を作る場所です。



私の親戚の写真です。

遊牧民の子どもたちは学校が終わったら、草原にあるゲル（家）に戻って、家族と暮らします。夏休みといっても、遊牧民にとって夏は一番忙しい季節なので家族皆で働きます。子どもたちは川から水を運んだり、なんでもやります、4歳から馬に乗り始め、両親を手伝いながら、遊牧のことを学びます。遊牧民の子どもたちは騎手としてモンゴルの「ナードム」祭りに参加するために楽しみにしています。

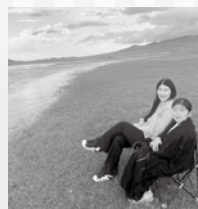


私は小学校5年生の時サマーキャンプを体験したことがあります。

また、モンゴルの子どもたちが一番好きなスポーツはバスケットボールです。団地内にある公園にはバスケットボールのコートがあり、皆で遊んで楽しい夏休みを過ごす子どもたちもいます。最近はバレーボールも人気になっています。



私もバスケットボールが好きです。



「ヘレレン」川沿い

夏休みの時も子どもたちは家族と一緒に、荷物を持ってウランバートル市から離れ、涼しい森の中や川沿いで遊んだり、モンゴルの大草原で観光したり、自然と一緒に過ごすことも多いです。

皆さん、楽しい思い出いっぱい夏休みをお過ごしください。

